

第2回検討委員会での意見集約

●排ガス自主規制値について

[意見1]

諮問理由にもあるとおり、施設は安全性に優れたものと、継続的に施設の維持管理できるようにということで、様々な方式がある。

建設用地の広さの問題等あり、併せてそれぞれの施設がその敷地の中に納まるかどうか、トータル的なコストも考えながらよりよい設備を造営できるようにしたいと考える。

●景観について

[意見1]

神戸市の港島クリーンセンターは、煙突の高さが45メートルである。それぞれ可能な限り景観も今後の課題として考える必要がある。

[意見2]

大気、水質、土壌の汚染だけをもって環境保全目標としてここで表明していいのかわかる。すなわち、2番目以降の景観等、様々な問題もある。

施設の内容も大変大事と思うが岩屋町に住んでいる者としたら、やっぱりここでこれからはずっと住むわけなので、景観は、年配の方はかなり気にされるし、ごみ処理施設というイメージを払拭できるような建設のスタイルにしていただきたい。

白煙については、できれば目立たないような施設にしていくことでこれから検討していただきたいと。

●防災・災害の対応について

[意見1]

粗大・リサイクル施設の所に櫛本上池と辻子池があるが、この2つの池を一時的に防災の役目をする貯水池にする方法も考えるべきと考える。満杯になれば川へ放流等の検討をしていただきたい。

[意見2]

粗大・リサイクル施設横の高瀬川について、上流は非常に急峻である。ゲリラ豪雨等で集中的な雨が降った際には土砂が流れ出て施設が埋まってしまう可能性もある。防災対策と避難民への対応をどうしたらいいのかの検討を。

[意見3]

20年先・30年先になれば、人口が減って、ごみ処理量も減ってくると予想される。その中で発電量が確保できるかの検討をしていただきたい。

●余熱利用・啓発施設について

[意見1]

住民たちとしては、世間の聞こえとしては迷惑施設という感覚が非常に高い。住民をこれから納得させていくためにも、余熱を利用した施設を作っていただきたい。なおかつ、多目的ホールみたいな形で、健康医療器具等を備えた多目的な施設を要望したい。

粗大・リサイクル施設は名阪国道の側道であるので、地場産業や農家の農作物の直売所を検討していただきたい。

[意見2]

粗大リサイクル施設は、環境啓発棟とは別に環境啓発型の施設として、一般市民が環境全般を学べる環境学習の場にできないか。

[意見3]

国崎クリーンセンターに行きましたが、地元の人がたくさん利用しています。住民の誰でも利用できるような施設にしていきたい。